

見てわかる 令和 2 年度 加賀市当初予算のあらまし

目次

はじめに

- | | |
|--------------------------|-------|
| 1. 予算ってなに？ | ・・・1 |
| 2. 令和 2 年度の予算額はいくら？ | ・・・2 |
| 3. 令和 2 年度の一般会計の予算額の内訳は？ | ・・・4 |
| 4. 借金残高はいくら？ | ・・・8 |
| 5. 貯金残高はいくら？ | ・・・9 |
| 6. 市民 1 人あたりではいくら？ | ・・・10 |
| 7. 「家計簿」に例えると？ | ・・・11 |

はじめに

加賀市では、平成 24 年 4 月から施行している「市民主役条例」の中で、市民が市政の主役となり、市政を推進していくことや、市民一人ひとりに市政に関心を持っていただくとともに、その自発的な活動をサポートすることを目指しています。

このことを踏まえ、市政についてより関心を持っていただくことを目的として、平成 24 年度から、市の予算や借金、貯金をグラフや家計簿などで表した「見てわかる加賀市当初予算のあらまし」を作成しています。

この冊子を通して、市の予算や事業についてご理解をいただければ幸いです。

令和 2 年 4 月

1. 予算ってなに？

◇予算とは？

加賀市に1年間（4月から翌年3月まで）に入ってくる収入を見積もり、その使い道を決めるのが予算です。予算を見れば、1年間にどのような収入を見込み、何に使おうとしているかが分かります。

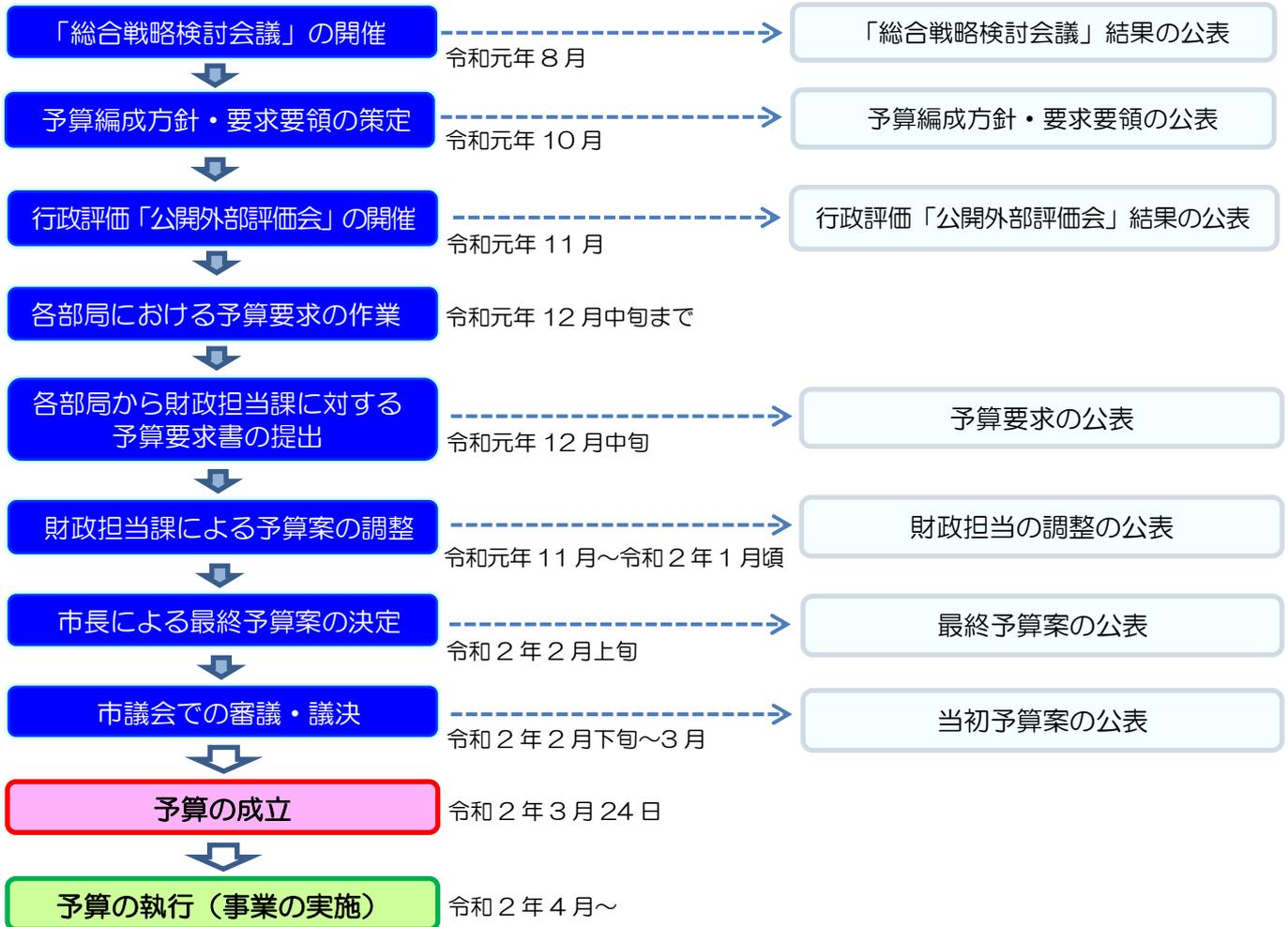
◇予算はどのように決まるの？

予算は次のように、市長が予算案を作り、市議会での審議・議決を経て決まります。

予算編成過程の透明化（見える化）

- ・行政評価における公開外部評価を実施した事業及び総合戦略検討会議で達成度を検証した事業について予算編成過程を公表
- ・公表に併せて市民からの意見を募集

（加賀市の令和2年度当初予算の場合）



◇どのような予算があるの？

予算は、どの収入がどこに使われているのか、収入と支出の関係をはっきりさせるために3つの種類（一般会計、特別会計、企業会計）に区分しています。

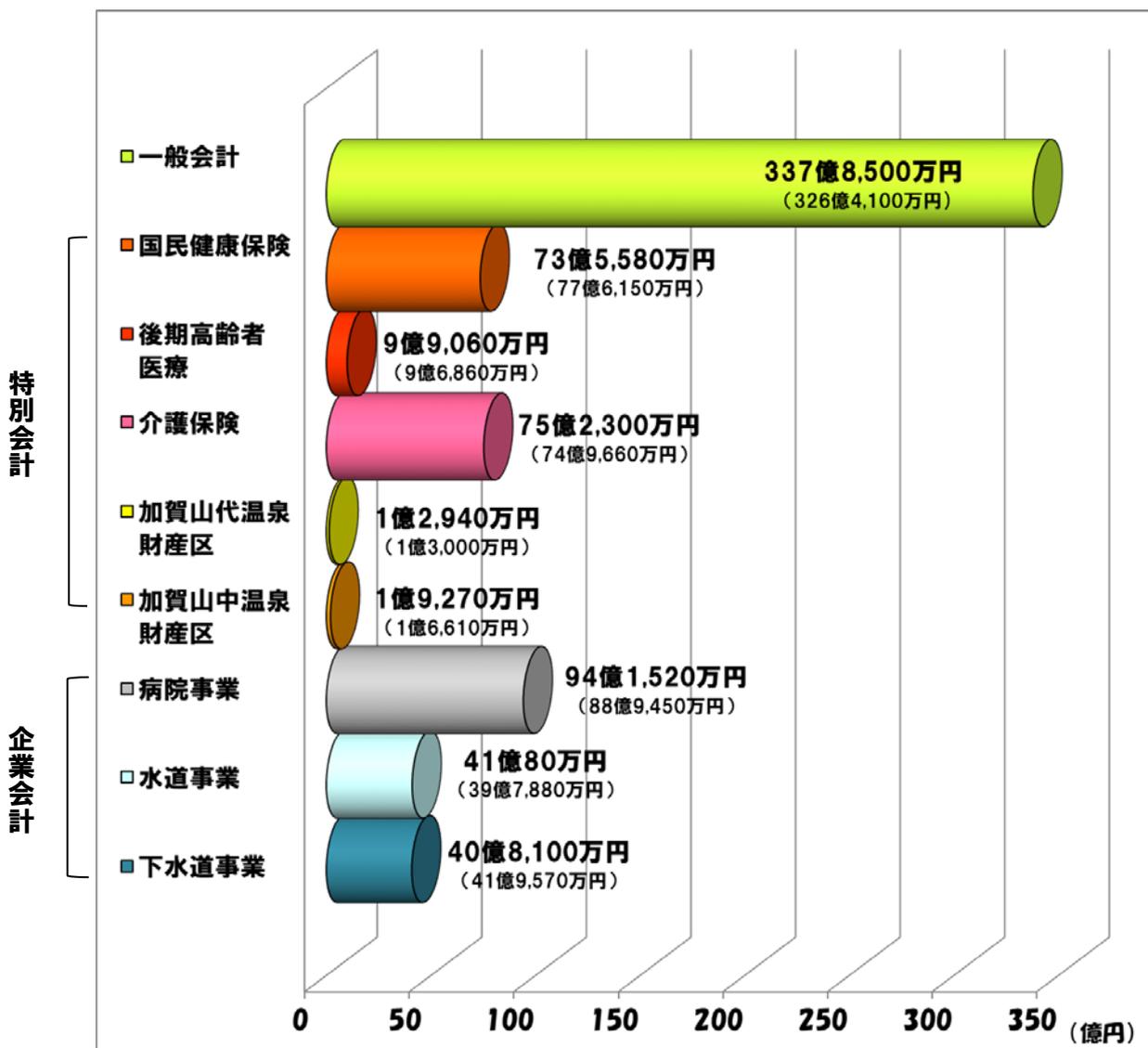
- 一般会計・・・福祉、教育、環境衛生、道路整備など基本的な行政サービスを行う会計です。
- 特別会計・・・保険料や使用料など特定の収入によって、特定の事業を行う場合などに設ける会計です。加賀市には現在、次ページに記載した5つの特別会計があります。
- 企業会計・・・民間企業と同じように事業収益で賄われることを基本とする会計です。加賀市には現在、病院事業、水道事業、下水道事業の3つの企業会計があります。

2. 令和2年度の予算額はいくら？

令和2年度は、これまで施策の柱としていた「将来の備え」と「成長戦略」を基本に、「加賀躍進プロジェクト」や「第2期まち・ひと・しごと総合戦略」を踏まえ、「スマートシティ」の重要な要素となる「デジタル化の推進」、「未来を担う人材の育成」、「脱炭素社会への取組み」を最重点事業として位置づけ、積極的な事業展開を図る編成を行いました。

○ 全会計	675億7,350万円	(令和元年度 662億3,280万円)	伸率+2.0%
○ 一般会計	337億8,500万円	(令和元年度 326億4,100万円)	伸率+3.5%
○ 特別会計	161億9,150万円	(令和元年度 165億2,280万円)	伸率△2.0%
○ 企業会計	175億9,700万円	(令和元年度 170億6,900万円)	伸率+3.1%

※ () 内数値は令和元年度当初予算額です。



◇ 令和元年度と比較すると予算はどう変わったの？

市の予算額は事業の開始や終了などにより、年度ごとに増減します。

令和2年度と令和元年度の予算額を比較して、一般会計と大きな変化があった会計について見ていきます。

一般会計

加賀ごみ処理施設・リサイクルプラザ基幹的設備改良事業などの事業費の増加を始めとし、スマートシティの実現に向け「デジタル化の推進」、「未来を担う人材の育成」、「脱炭素社会への取組み」の実施することなどから、11億4,400万円の増加です。

国民健康保険特別会計

国民健康保険の一人あたりの保険給付費の減少が見込まれることによる保険給付費の減少等により4億570万円の減少です。

病院事業会計

医療の質・機能の向上を図るため、医師等スタッフの増員による給与費の増加や診療材料費の増加等により、5億2,070万円の増加です。

水道事業会計

老朽化した水道管や水道施設の更新にかかる費用と他会計貸付金の増加等により1億2,200万円の増加です。

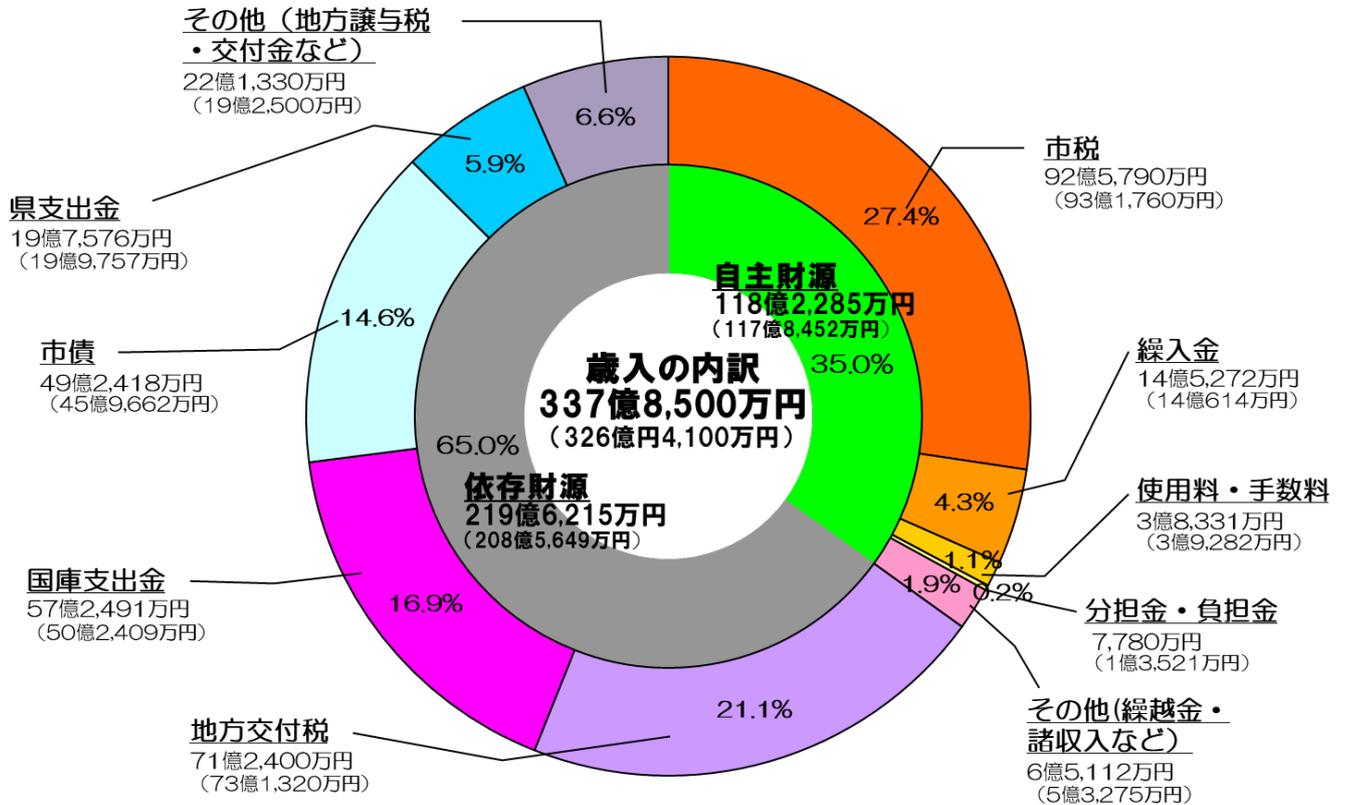
下水道事業会計

流域下水道建設費負担金や企業債償還に係る費用の減少等により1億1,470万円の減少です。

3. 令和2年度の一般会計の予算額の内訳は？

(1) 歳入

◎ 歳入を種類別に区分し、更に自主財源と依存財源に分けて見ると次のようになります。



※ () 内数値は令和元年度当初予算額です。

※一万円未満を四捨五入しているため合計が合わない場合があります。

自主財源 118 億 2,285 万円 (構成比率 35.0%) (令和元年度比較伸率 +0.3%)

市が自主的に収入できる財源のことで、市税や負担金、使用料、繰越金などです。この割合が高いほど財政が安定し、自律的な財政運営ができることとなります。

令和元年度と比較すると、約 4 千万円の増加です。

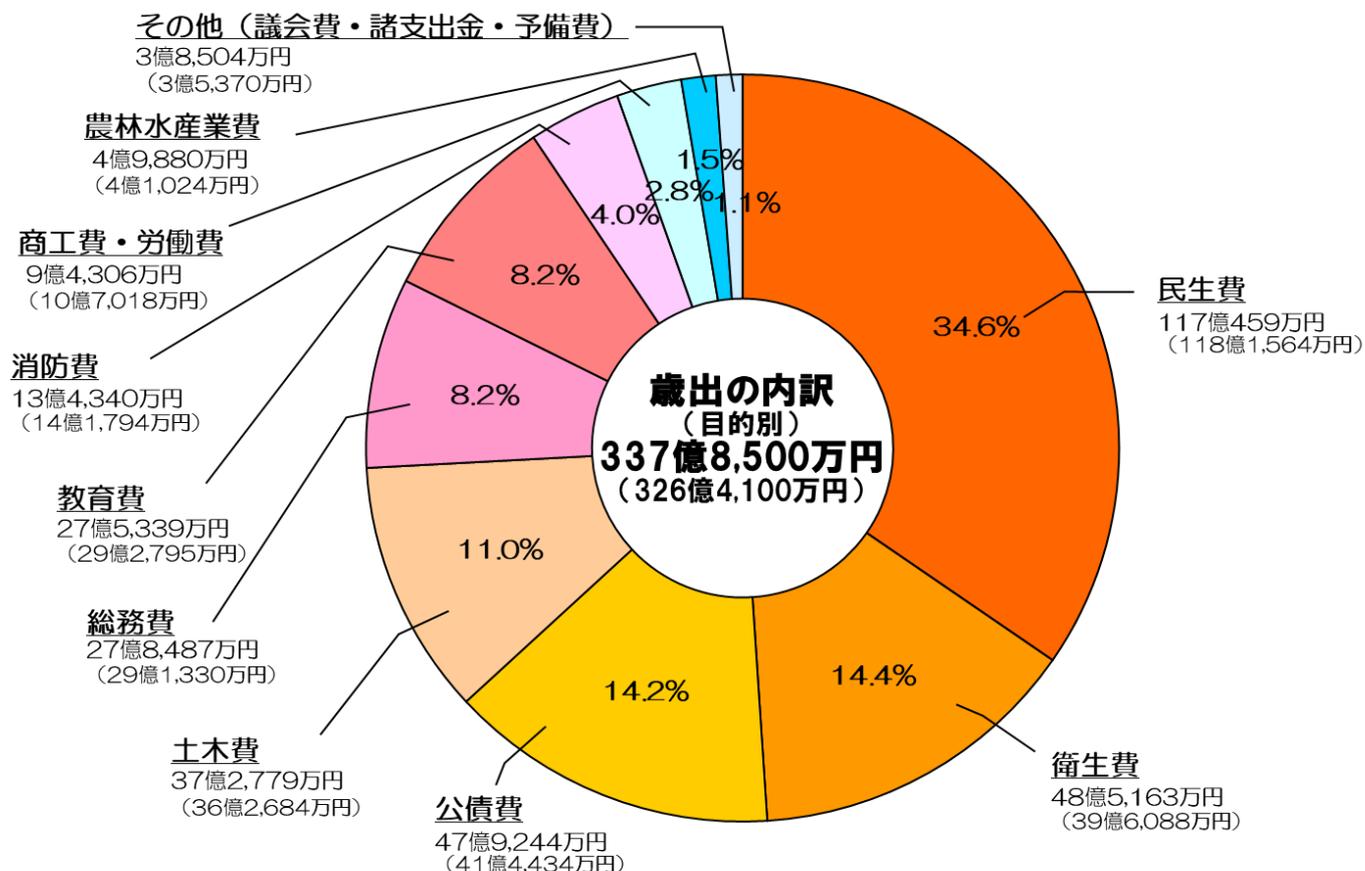
依存財源 219 億 6,215 万円 (構成比率 65.0%) (令和元年度比較伸率 +5.3%)

国や県等から交付される財源のことで、国・県支出金、地方交付税、市債などです。

令和元年度と比較すると、約 11 億円の増加です。

(2) 歳出(目的別予算)

◎ 歳出を行政目的別に区分すると次のようになります。



※ () 内数値は令和元年度当初予算額です。

※一万円未満を四捨五入しているため合計が合わない場合があります。

○ 目的別予算のうち主なもの

民生費 117 億 459 万円 (構成比率 34.6%) (令和元年度比較伸率 Δ0.9%)

民生費とは、高齢者、障がい者、児童、生活保護などの福祉に要する経費です。

令和元年度と比較すると、介護保険事業特別会計への繰出金や後期高齢者医療広域連合療養給付費用負担金の増加等がありますが、児童手当給付費や生活保護費の減少等により、全体では約 1 億 1 千万円の減少です。

衛生費 48 億 5,163 万円 (構成比率 14.4%) (令和元年度比較伸率 +22.5%)

衛生費とは、健康診断や予防接種、ごみ処理、病院事業会計への繰出しなどに要する経費です。

令和元年度と比較すると、地域資源を活用したエネルギーマネジメント導入調査費の皆減等がありますが、加賀ごみ処理施設・リサイクルプラザ基幹的設備改良事業費や病院事業会計出資金の増加等により、約 8 億 9 千万円の増加です。

公債費 47 億 9,244 万円（構成比率 14.2%）（令和元年度比較伸率 +15.6%）

公債費とは、市の借入金の返済に要する経費です。

令和元年度と比較すると、平成 28 年度に起債した臨時財政対策債及び過疎対策事業債の元金償還の開始や、借換債の増加等により、全体では約 6 億 5 千万円の増加です。

土木費 37 億 2,779 万円（構成比率 11.0%）（令和元年度比較伸率 +2.8%）

土木費とは、都市計画の策定、道路、河川、公園の整備や維持管理などに要する経費です。

令和元年度と比較すると、こおろぎ橋架替工事費の皆減等がありますが、一般道路整備費や北陸新幹線加賀温泉駅周辺施設整備事業費の増加等により、全体では約 1 億円の増加です。

総務費 27 億 8,488 万円（構成比率 8.2%）（令和元年度比較伸率 △4.4%）

総務費とは、まちづくりの推進、公共交通、電算システムの運用などに要する経費です。

令和元年度と比較すると、マイナンバーカード交付事業費の増加等がありますが、選挙費（参議院議員選挙、県議会議員選挙）や勅使地区会館大規模改修事業費の皆減、職員退職手当費の減等により、全体では約 1 億 3 千万円の減少です。

教育費 27 億 5,339 万円（構成比率 8.2%）（令和元年度比較伸率 △6.0%）

教育費とは、学校教育、生涯学習、スポーツ振興、文化振興などに要する経費です。

令和元年度と比較すると、陸上競技場整備費の増加等がありますが、かが健康グリーンパーク整備費の皆減等により、全体では約 1 億 7 千万円の減少です。

消防費 13 億 4,340 万円（構成比率 4.0%）（令和元年度比較伸率 △5.3%）

消防費とは、消防や防災対策に要する経費です。

令和元年度と比較すると、消防車両整備費の増加等がありますが、動橋分団及び三木分団車庫整備事業費や防災情報伝達システム整備費の減少等により、全体では約 7 千万円の減少です。

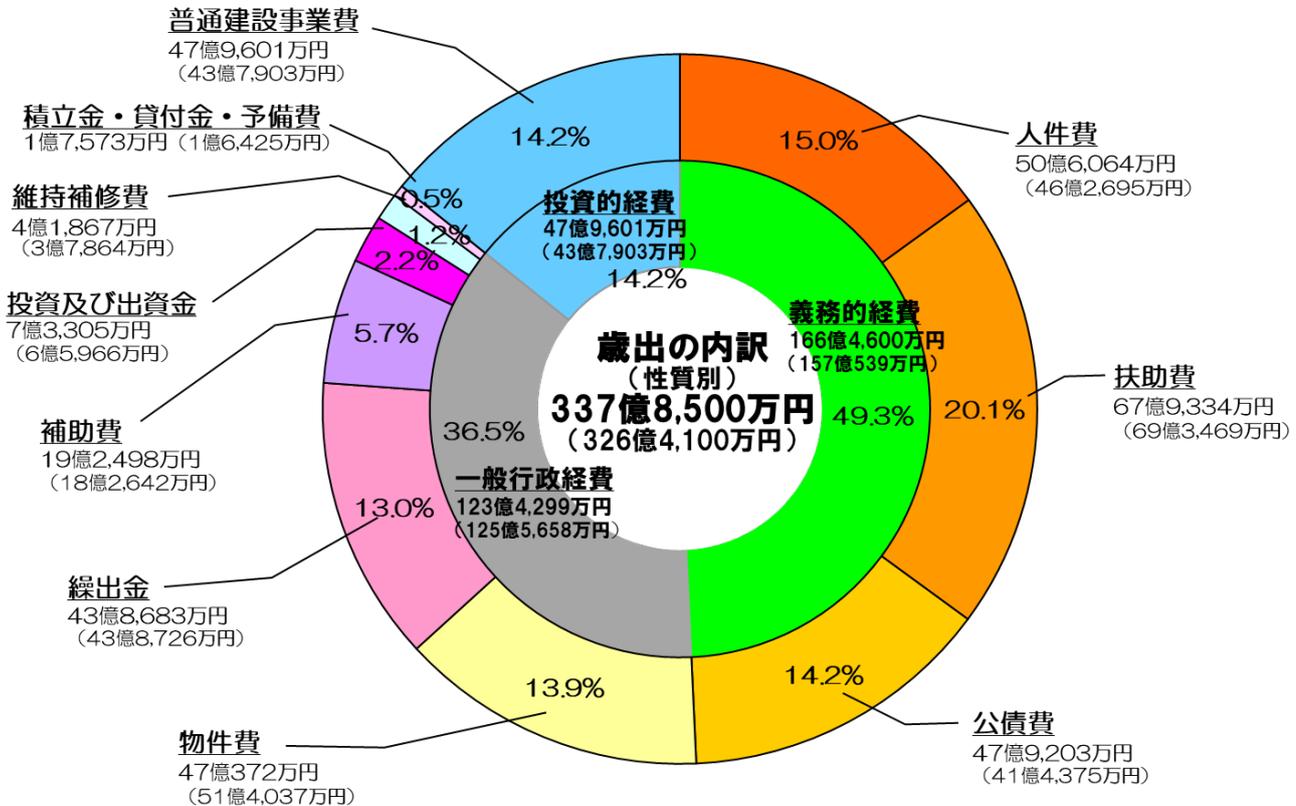
商工費・労働費 9 億 4,306 万円（構成比率 2.8%）（令和元年度比較伸率 △11.9%）

商工費・労働費とは、商工業や観光振興、労働福祉に要する経費です。

令和元年度と比較すると、スマート加賀 I o T 推進事業費の増加等がありますが、プレミアム付商品券事業費の皆減等により、全体では約 1 億 3 千万円の減少です。

(3) 歳出 (性質別予算)

◎ 歳出を経済的な機能や性質から見た性質別経費として区分し、更に義務的経費、一般行政経費、投資的経費に分けて見ると次のようになります。



※ () 内数値は令和元年度当初予算額です。

※一円未満を四捨五入しているため合計が合わない場合があります。

義務的経費 166 億 4,600 万円 (構成比率 49.3%) (令和元年度比較伸率 +6.0%)

義務的経費とは、法令の規定や経費の性質上、支出が義務づけられている経費であり、任意に削減できないものです。具体的には、児童・高齢者・生活保護者などの生活支援にかかる扶助費、市職員給与などの人件費、市の借金を返済するための公債費のことで、この割合が低いほど建設事業やほかの様々なサービスに多くお金を使えることとなります。

令和元年度と比較すると、全体では約 9 億 4 千万円の増加です。

一般行政経費 123 億 4,299 万円 (構成比率 36.5%) (令和元年度比較伸率 Δ1.7%)

一般行政経費とは、施設の管理費などの物件費、各種団体への負担金・補助金などの補助費等、施設の維持補修費や、特別会計への繰出金等のことです。

令和元年度と比較すると、全体では約 2 億 1 千万円の減少です。

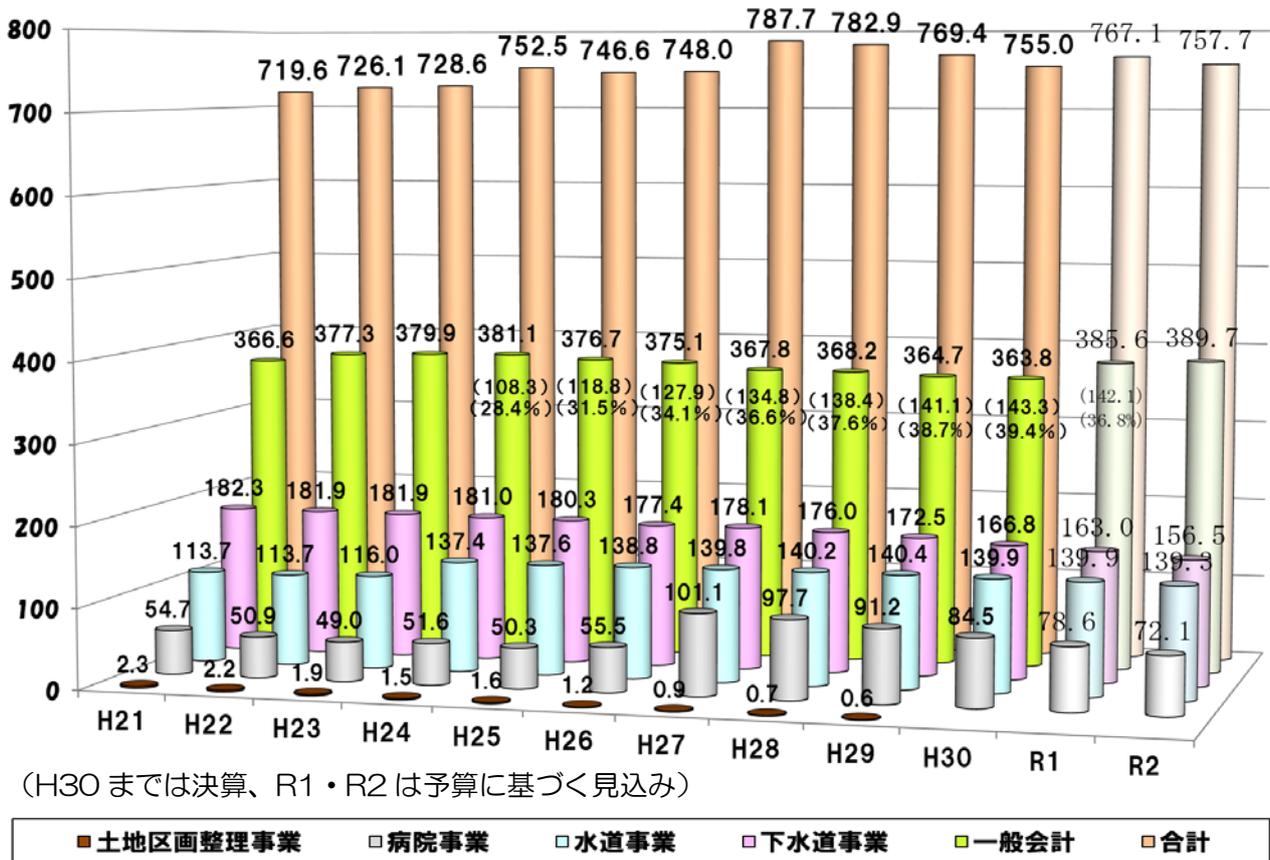
投資的経費 47 億 9,601 万円 (構成比率 14.2%) (令和元年度比較伸率 +9.5%)

投資的経費とは、その支出が社会資本形成に向けられるものです。具体的には、道路や公共施設の整備等の普通建設事業のほか、災害復旧事業に充てられる費用のことを指します。

令和元年度と比較すると、約 4 億 2 千万円の増加です。

4. 借金残高はいくら？

(億円)



※ () 内数値は臨時財政対策債の残高及び一般会計残高に占める割合です。

※土地区画整理事業特別会計は平成30年度末で廃止

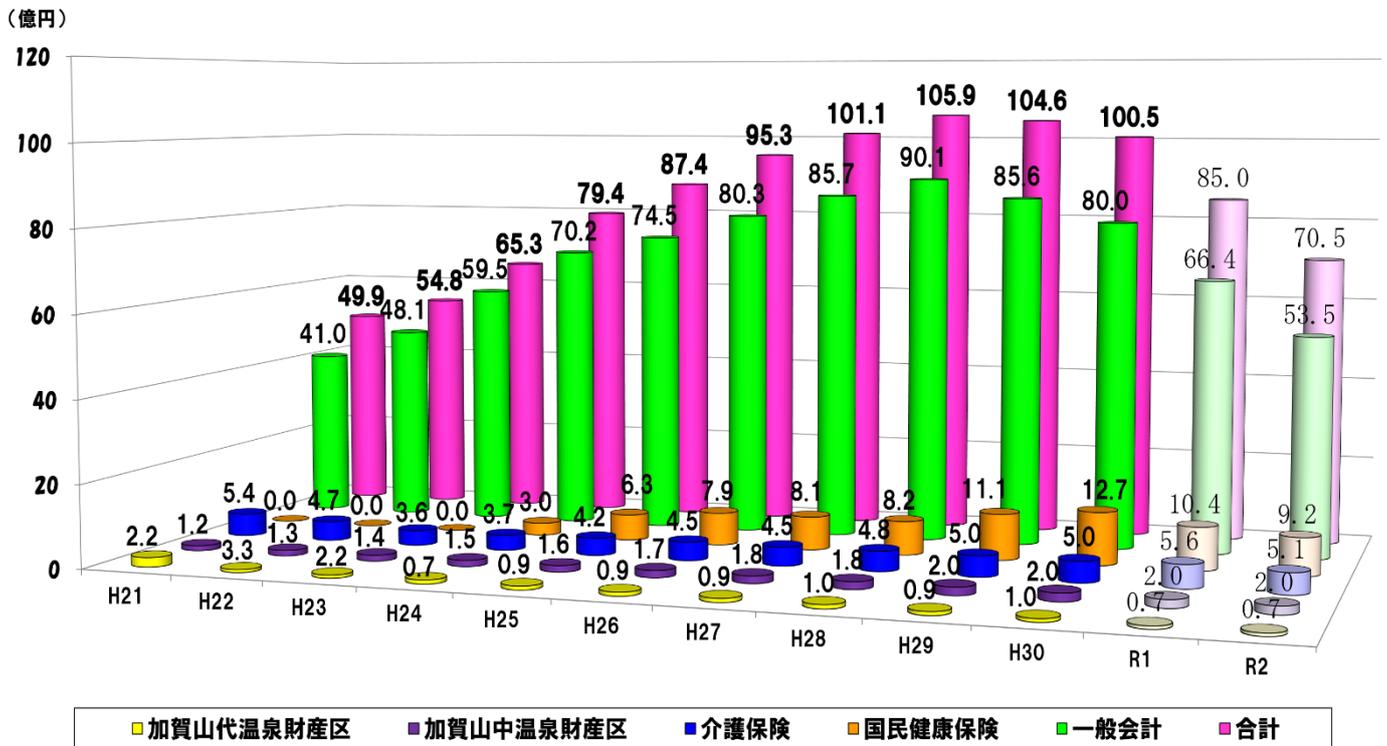
市の借金は、市債といいます。

加賀市では、一般会計、病院事業会計、水道事業会計、下水道事業会計の計4つの会計で市債を発行しています。

全会計を合計した市債残高は、平成17年度の合併以降、平成20年度までは減少しましたが、平成21年度以降は増加傾向にあります。増加の主な理由としては、一般会計で、国の経済対策に伴い、小中学校や環境美化センター等の耐震改修事業を行ったことや、地方交付税の代替財源であって、後年度の返済額の全額が交付税措置される臨時財政対策債を借り入れていること、また、病院事業会計で加賀市医療センターの建設を行ったことが挙げられます。

令和元年度及び令和2年度は、加賀ごみ処理施設・リサイクルプラザ基幹的設備改良事業等にかかる市債の発行により一般会計の市債残高は増加する見込みですが、病院事業会計、水道事業会計及び下水道事業会計において、市債償還が進むことにより全会計を合計した市債残高は減少する見込みです。

5. 貯金残高はいくら？



(H30 までは決算、R1・R2 は予算に基づく見込み)

市の貯金は、基金といいます。

加賀市では、一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、加賀山代温泉財産区特別会計、加賀山中温泉財産区特別会計の計5つの会計で基金を積立てています。

全会計を合計した基金残高は、平成17年度の合併以降、平成28年度までは増加傾向にありましたが、平成29年度以降、一般会計において災害対応及び年度間の財源調整として財政調整基金の取崩しや退職手当基金の取崩しを行ったことなどにより基金残高は減少しています。

令和元年度及び令和2年度は、先送りの出来ない事業の予算措置などに伴う一般会計の収支不足に対する財政調整基金の取崩しや、加賀ごみ処理施設・リサイクルプラザ基幹的設備改良事業への環境美化センター施設整備基金の取崩し、地方創生推進事業へ活用するための重点事業推進基金の取崩しを行いました。また、各年度財政負担の平準化のため、まちづくり振興基金、減債基金などの取崩しを行いました。

6. 市民1人あたりではいくら？

○一般会計の予算を市民1人あたりに換算すると、約51万円になります。

予算の使いみち	令和2年度予算		
			市民1人あたりの予算(※2)
民生費 <small>(高齢者、障がい者、児童、生活保護のために)</small> 	117億459万円	34.6%	17万6,460円 (17万5,810円)
衛生費 <small>(健康診断や予防接種、ごみ処理等のために)</small> 	48億5,163万円	14.4%	7万3,144円 (5万8,935円)
公債費 <small>(市の借入金の返済のために)</small> 	47億9,244万円	14.2%	7万2,251円 (6万1,665円)
土木費 <small>(都市計画の策定、道路、河川、公園等の整備のために)</small> 	37億2,779万円	11.0%	5万6,201円 (5万3,965円)
総務費 <small>(まちづくりの推進、公共交通、電算システム等のために)</small> 	27億8,487万円	8.2%	4万1,985円 (4万3,348円)
教育費 <small>(学校教育、生涯学習、スポーツ振興、文化振興等のために)</small> 	27億5,339万円	8.2%	4万1,510円 (4万3,566円)
消防費 <small>(消防、防災対策のために)</small> 	13億4,340万円	4.0%	2万2,533円 (2万1,098円)
商工費・労働費 <small>(商工業、観光振興、労働福祉のために)</small> 	9億4,306万円	2.8%	1万4,218円 (1万5,924円)
農林水産業費 <small>(農業、林業、水産業振興のために)</small> 	4億9,880万円	1.5%	7,520円 (6,104円)
その他の行政費 <small>(議会運営や基金積立等のために)</small> 	3億8,504万円	1.1%	5,805円 (5,263円)
合計(※1)	337億8,500万円	100%	50万9,347円 (48万5,679円)

○市民1人あたりの借金残高、貯金残高は次のとおりです。

区分	令和2年度末残高見込み	
		市民1人あたりの残高(※2)
全会計の借金残高	757億7,116万円	114万2,336円
うち一般会計の借金残高	389億7,437万円	58万7,583円
うち臨時財政対策債(※3)の残高	140億9,124万円	21万2,441円
全会計の基金残高	70億4,543万円	10万6,218円
うち一般会計の基金残高	53億5,303万円	8万7,033円

※1 一万円未満を四捨五入しているため合計が合わない場合があります。

※2 令和2年度予算、令和2年度末残高を、令和2年1月1日の住民基本台帳に基づく人口(66,330人)で割って算出しています。()は令和元年度の数値です。

※3 臨時財政対策債は後年度の返済額の全額が、国から交付税措置されます。

7. 「家計簿」に例えると？

○ 一般会計の予算（337億8,500万円）を年収552万円（1月あたり46万円）の家計に置き換えています。

※厚生労働省実施の「平成30年国民生活基礎調査」による全国の家計平均所得が551万6,000円であることから端数を整理して、552万円の家計に置き換えています。



【加賀家 1ヵ月の家計簿】

《 収 入 》		《 支 出 》	
給与 (市税)	12万6,051円 (13万3,213円)	食費 (人件費)	6万8,903円 (6万6,151円)
諸手当 (地方交付税、国県補助金等)	23万1,981円 (23万2,466円)	家族の医療費・教育費 (扶助費)	9万2,495円 (9万9,145円)
パート収入 (使用料・手数料等)	1万5,144円 (1万5,166円)	ローンの返済 (公債費)	6万5,246円 (5万9,243円)
貯金の取崩し (繰入金)	1万9,779円 (2万104円)	子どもへの仕送り (繰出金、投資・出資金)	6万9,710円 (7万2,156円)
銀行からの借入 (市債)	6万7,045円 (6万5,718円)	光熱水費や通信費など (物件費、補助費等)	9万253円 (9万9,604円)
		家・車・電化製品の修理、買い換え (維持補修費、普通建設事業費)	7万1,000円 (6万8,020円)
		親戚へ貸すお金 (貸付金)	1,456円 (1,593円)
		貯金 (積立金、予備費)	937円 (755円)
計	46万円 (46万6,667円)	計	46万円 (46万6,667円)

() 内は令和元年度の数値です。

○ 一般会計予算を年収552万円の家計に置き換えた場合の令和2年度末の借金残高、貯金残高（見込み）

全会計の借金残高	1,237万9,956円	全会計の貯金残高	115万1,126円
うち一般会計の借金残高	636万7,871円	うち一般会計の貯金残高	87万4,610円
うち臨時財政対策債(*)の残高	230万2,313円		

※ 臨時財政対策債は後年度の返済額の全額が、国から交付税措置されます。

見てわかる
令和 2 年度
加賀市当初予算のあらまし

作成：令和 2 年 4 月

編集：加賀市総務部財政課財政係

（〒922-8622 石川県加賀市大聖寺南町二 41 番地）

TEL：0761-72-7805

E-mail：zaiseikakari@city.kaga.lg.jp

HP：<http://www.city.kaga.ishikawa.jp/>